

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2000-167294  
(P2000-167294A)

(43)公開日 平成12年6月20日(2000.6.20)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

D 0 6 F 57/00  
57/12

識別記号

3 7 0

F I

D 0 6 F 57/00  
57/12

テマコード\*(参考)

3 7 0  
N

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平10-342626

(22)出願日 平成10年12月2日(1998.12.2)

(71)出願人 398069285

松田 正久

石川県金沢市大桑町平42-18 8棟-103号

(72)発明者 松田正久

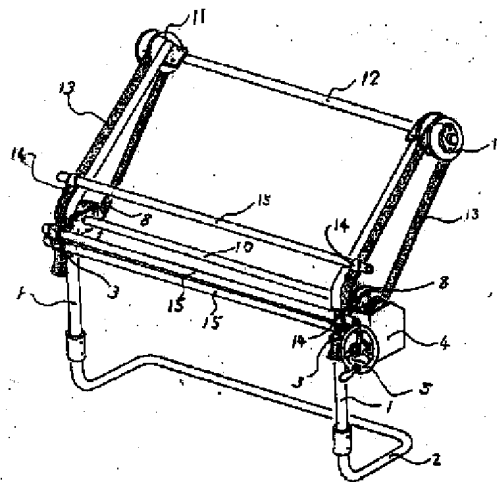
石川県金沢市大桑町平42-18 8棟103号

(54)【発明の名称】 身体不自由者用の洗濯物干し台

(57)【要約】 (修正有)

【課題】車椅子使用の身体障害者や腰の不自由な高齢者と健常者が兼用でき、身体不自由者が容易に洗濯物を物干し竿にかけることができる様、作業可能高さに調整でき、しかも安全で容易に多量の洗濯物を物干し竿にかけ、軽量小型で移動可能な身体不自由者用の洗濯物干し台を提供する。

【解決手段】架台両側の側柱1は中央部から傾斜させてある。複数の物干し竿15が物干し竿昇降装置の手回しハンドル5を回すことにより連動して側柱1の上面を昇降する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 架台両側の側柱(1)は中央部から傾斜させてある。複数の物干し竿(15)が物干し竿昇降装置の手回しハンドル(5)を回すことにより連動して側柱(1)の上面を自重も利用して昇降することを特徴とする身体不自由者用の洗濯物干し台。(図1)

【請求項2】 物干し竿昇降駆動装置(図5)は、固定物干し竿(10)に回転軸(9)が差し込まれており、回転軸(9)の両側には連動ドラム(8)と片側にはホイールギヤ(7)が固定されている。これに手回しハンドル(5)と連動するウオームギヤ(6)が側柱(1)に取り付けてあるギヤボックス(4)内で組み合わされている。

【請求項3】 請求項2に記載の物干し竿昇降駆動装置(図5)の両側の連動ドラム(8)には複数の竿脱着具(14)を取り付けた帯(13)が固定されている。帯(13)は連動ドラム(8)の回転により物干し竿昇降駆動装置(図4)の両側に取り付けてある自由ドラム(11)を介して作動する機構とする。以上のごとく構成された身体不自由者用の洗濯物干し台(図1)。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明に属する技術分野】 この発明は複数の物干し竿(15)を左右の帯(13)に取り付けられてある竿脱着具(14)に装着することにより、架台(図3)に設置された物干し竿昇降駆動装置(図5)の手回しハンドル(5)を回すことにより物干し竿(15)を昇降するようにした身体不自由者と健常者が兼用できる身体不自由者用の洗濯物干し台(図1)。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の洗濯物干し装置として、室内等の建物の天井に固定し、上からぶら下げ物干し竿を電動制御駆動方式で作動させる物や、紐で物干し竿を吊り下げ、手で紐を引張り上下させる物がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとした課題】 車椅子使用の身障者や腰が不自由になった高齢者と健常者が兼用でき、移設可能で屋内外共に簡単操作で安全に使用できる洗濯物干し台がなかった。本発明はこれらの欠点を除く為になされた物である。

## 【0004】

【課題を解決する為の手段】 身体不自由者用の洗濯物干し台とするための手段として、車椅子に乗たままでも洗濯物干し作業ができる様、洗濯物干し台の架台(図3)の土台(2)は内側に曲がっており障害物が無い。又、洗濯物を物干し竿にかけ安い位置に手回しハンドル(5)で高さを調整できるようにしてあるので腰の不自由な高齢者及び健常者共にも使いやすくしてある。軽量構造とするための手段として、中空管製の架台(図3)及び物干し竿(15)とする。小型構造とするための手段として、側

柱(1)は中間から傾斜させておき小間隔で複数の物干し竿(15)をかけても上段の洗濯物に水滴がかからないようにする。安全構造とするための手段として、物干し竿昇降駆動装置(図5)は手回しハンドル(5)と連動するウオームギヤ(6)とホイールギヤ(7)の組み合わせにより、ホイールギヤ(7)からの回転入力では動かない原理を用いる。このことは手回しハンドル

(5)を回さない限り作動しない安全構造となっている。簡単構造とするための手段として、物干し竿を装着する装置(図6)は物干し竿(15)を帯(13)に取り付けられた竿脱着具(14)にのせるだけで装着可能とする。移動構造とするための手段として、身体不自由者用の洗濯物干し台(図1)は軽量小型の構造とし屋内外とも使用可能な構造とする。

## 【0005】

【発明の実施の形態】 身体不自由者の洗濯物干し台を使用するときは、使用前の全体斜視図(図1)の状態にする。このとき複数の物干し竿(15)は両側に取り付けられている帯(13)の竿脱着具(14)に装着しておく。係留棒(3)には複数の物干し竿(15)が待機している。係留してある一段目の物干し竿(15)を作業位置に上げるには手回しハンドル(5)を右又は左に回転して作業可能高さにし、洗濯物を物干し竿(15)にかける。次段からは順次手回しハンドル(5)を左回転させ物干し竿(15)を作業可能高さにし、洗濯物を物干し竿(15)にかける。このとき物干し竿(15)は連動して上がっていく。洗濯物を外すときは、手回しハンドル(5)を右回転させ物干し竿(15)を作業可能位置まで降ろし、洗濯物を外す。固定物干し竿(10)には布団等の重いものに適している。

## 【0006】

【発明の効果】 架台(図2)と物干し竿(15)は中空管で構成されており、側柱(1)は中間から傾斜させてあるので、小間隔で複数の物干し竿(15)を装着しても、水分を含んだ洗濯物が下段の洗濯物にかからない。これらのことは架台を小型にし軽量となり、移動可能とする効果がある。物干し竿(15)の昇降操作は手回しハンドル(5)を回すだけで可能である。物干し竿駆動昇降装置(図4)にはウオームギヤ(6)とホイールギヤ(7)が組み合わされているので、手回しハンドル(5)を回さない限り物干し竿(15)は昇降しない効果がある。この発明構造には、昇降装置の手回しハンドルの代わりに電動機の取り付け、定置き用のジャッキ付や移動用のブレーキ付キャスターの取り付け、帯とドラムの代わりにチェーンとスプロケットを装着することができる効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 使用前の全体斜視図である

【図2】 使用中の全体斜視図である

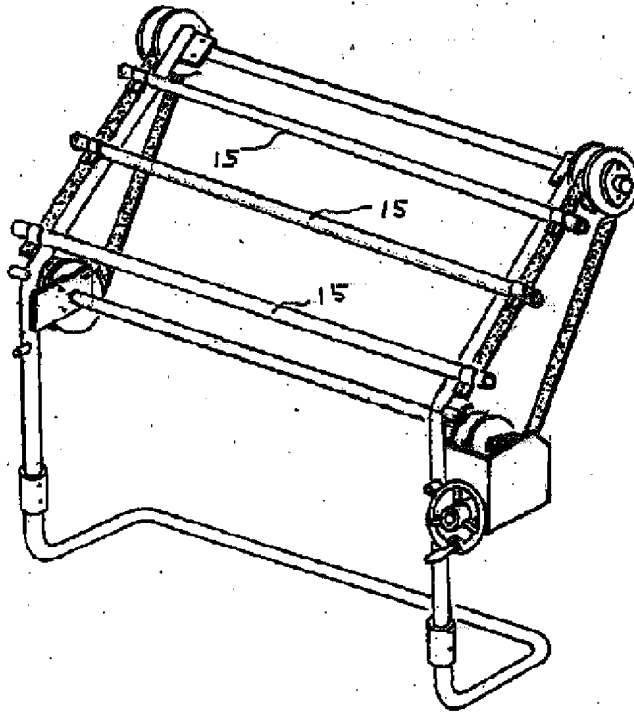
【図3】 架台を示す斜視図である

1

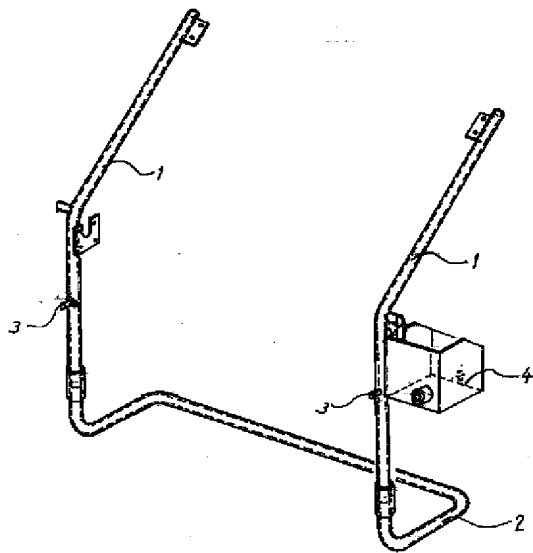
This perspective view shows the mechanical assembly of the device. A handle (1) is connected to a pump mechanism (4) through a complex linkage system. The linkage includes a pump rod (10) that passes through a series of guides (15) and is connected to a pump head (14). A connecting rod (11) links the pump head to a lever arm (12), which is pivoted at its other end (13). The lever arm is connected to the handle (1) via a pivot point (14). A tank (2) is attached to the handle, and a hose (3) is connected to the pump mechanism (4).

A technical drawing of a mechanical assembly, likely a pump or motor component. The drawing shows a horizontal shaft with several components. On the left, there is a large gear (8) mounted on the shaft. To its right is a smaller gear (10) mounted on the same shaft. Further right is another large gear (9) mounted on the shaft. To the right of gear 9 is a smaller gear (8) mounted on the shaft. At the far right, there is a handle (5) with a circular face and a central shaft, connected to the main assembly. The drawing is a perspective view showing the internal components and their arrangement.

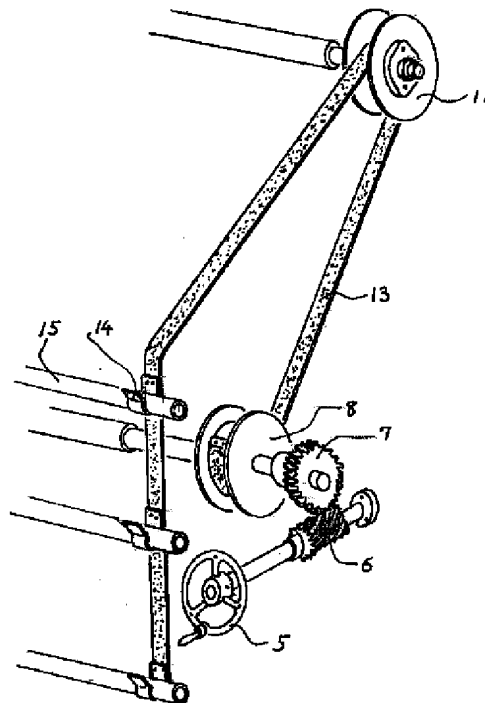
【図2】



【図3】



【図6】



**PAT-NO:** JP02000167294A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 2000167294 A  
**TITLE:** LAUNDRY DRYING STAND FOR THE  
PHYSICALLY HANDICAPPED  
**PUBN-DATE:** June 20, 2000

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
MATSUDA, MASAHISA	N/A

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
MATSUDA MASAHISA	N/A

**APPL-NO:** JP10342626  
**APPL-DATE:** December 2, 1998

**INT-CL (IPC):** D06F057/00 , D06F057/12

**ABSTRACT:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable even the physically handicapped or the aged to easily dry laundry by providing the stand with side poles on both the sides of a frame while inclining it upward from a center part, and endless belts so as to be freely turned along with the inclined side pole portions to make a wash-line pole bridged between left and right belts freely lift.

SOLUTION: Side poles 1 erected on both the sides of a frame (base) 2 are inclined upward from the center part and an endless belt 13 is wound between an interlocked drum 8 and a free drum 11 supported at both the ends of the inclined side pole portion. Then, both the end parts of a plurality of wash-line poles 15 are supported through a pole attaching/detaching tool 14 between the left and right belts 13 and 13. Besides, lock bars 3 for preserving a plurality of wash-line poles 15 and making them on standby in the case of no use are arranged at the bent portions of the side poles 1. When moving up the first stage of wash-line pole 15 to a working position, a manual handle 5 is rotated, the left and right belts 13 are moved up to workable height through a gear box 4 and at the height position, laundry is hung on the wash-line poles 15.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO